



取扱説明書

■加圧コンテナ PC-18DM

この取扱説明書は、安全にご使用いただくために重要な警告、注意事項及び取扱方法について記載しています。
ご使用前に必ずお読みになり、十分に理解してからご使用ください。
また、本書はすぐに確認出来る場所に大切に保管してください。

■ 重要なお知らせ

- ・ この取扱説明書で扱われている製品は塗装専用の商品です。他の用途には使用しないでください。
- ・ 操作や機能を正しくご理解いただくため、この取扱説明書を必ずお読みになり、重要な警告、注意事項および取扱方法について、十分に理解された方が使用してください。
- ・ 正しい方法にてご使用いただけない場合、製品の性能が十分達成できなかつたり、重大な事故につながる可能性があります。



この取扱説明書はすぐに確認できる場所に大切に保管してください。

● 安全性について

- ・ 本取扱説明書で示す安全事項は、必要最低限のものであります。国や自治体の消防、電気、安全関連の法規、規則、又それぞれの企業や事業所で規則・規定として守るべき事項に従ってください。
- ・ 本文中に次の警告・注意マークで示している箇所は、安全にお使い頂くため、特に重要です。
- ・ 絵表示、記号の意味は次のようになっています。

注意喚起の表示

 警告	警告内容を怠った場合、人が死亡または重傷を負う可能性が想定されることを示します。
 注意	注意内容を怠った場合、人が傷害を負う可能性、または物理的損害の発生する可能性が想定されることを示します。

絵表示の例

	この記号は『注意すべきこと』を意味しています。 この記号の中や近くに、具体的な注意内容を示します。 (左の例は換気に注意)
	この記号は『してはいけないこと』を意味しています。 記号の中や近くに、具体的な禁止内容を示します。 (左の例は接触禁止)
	この記号は『しなければならないこと』を意味しています。 この記号の中や近くに、具体的な指示内容を示します。 (左の例は保護マスクを着用せよ)

※ 警告、注意の表示を無視して使用した場合の損害、損傷については、当社では責任を負いかねますので、御了承願います。

● 補足表示について

重要	この記号は機械の性能や機能を十分に発揮してお使いいただくため、守っていただきたい内容を示しています。
ワンポイント	この記号は使用にあたって役立つ知識、アドバイスなどを示しています。

● この商品の保証について

巻末に保証とサービスについての説明があります。良くお読みください。

目次

■ 重要なお知らせ	
■ 1. 安全性についてのご注意	1
■ 2. 現品確認	2
■ 3. 仕様	2
■ 4. 準備	2
■ 5. 使用方法	3
■ 6. 故障の原因と対策	3, 4
■ 7. 点検と整備	5
■ 8. 分解と組立て	6
■ 9. 構成部品	7, 8
■ 10. 保証と修理サービス	9

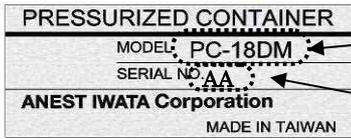
1. 安全についてのご注意

<p>警告</p> <p>保護具の着用</p> <ul style="list-style-type: none"> 作業中は保護眼鏡、保護マスクおよび手袋などの保護具を必ず着用してください。 塗料が目に入ったり、揮発溶剤を吸込んだりする危険性があります。 		 
<p>換気に注意</p> <ul style="list-style-type: none"> 換気の良い場所で使用してください。 換気の不十分な狭い場所で使用すると、塗料や溶剤から飛散した揮発成分を吸い込み、有機溶剤中毒を起こすことがあります。作業中、身体に異常を感じたら、直ちに医師による治療を受けてください。 		
<p>火気厳禁</p> <ul style="list-style-type: none"> 火気のある場所や火気の近くで絶対に使用しないでください。 特に下記のものには着火源になる可能性があり、非常に危険です。 タバコなどの裸火、ストーブ、ランプおよびヒーターなどの電気用品 		
<p>破裂に注意</p> <ul style="list-style-type: none"> 製品を落下させないよう、取扱に十分注意してください。また微小でも傷の付いた製品は絶対に使用しないでください。耐圧強度が低下し、製品が破裂する危険性があります。 万一、容器底部に付いているハカマが弛むようでしたら容器底部をキズつける恐れがありますので、速やかに販売店又は当社支店・営業所にご連絡ください。 最高使用圧力範囲内で使用してください。製品が破損し、非常に危険です。 安全弁を汚さぬよう注意してください。 安全弁を汚損すると、作動不良となり容器内に最高使用圧力以上の圧力がかかり、製品が破損することがあります。 塗料の充填時など、容器セットを外す時は供給空気を遮断し、抜気弁で容器内の圧力を確実に抜いてください。 加圧されたまま容器を外すと、容器内の液体や部品が飛散し非常に危険です。 		 
<p>回転部注意</p> <ul style="list-style-type: none"> エアーマーターの作動中は攪拌軸、軸継手および攪拌羽根などの回転する部分に手を触れないでください。回転部分に身体が接触すると怪我をする可能性があります。 塗料の充填時など、蓋を開ける場合は供給空気を遮断し、エアーマーターを停止してから行ってください。塗料が飛び散る危険性があります。 		
<p>製品の改造は絶対にしないでください</p> <ul style="list-style-type: none"> 安全弁の作動圧力設定は変更しないでください。 安全弁は0.3MPaから0.34MPaでエアをリークするよう設定されています。作動圧力設定を変更すると容器内に最高使用圧力以上の圧力がかかり製品が破損することがあります。 部品を交換する場合は必ず純正部品を使用してください。十分な性能が発揮できないばかりか製品が破損することがあります。 		
<p>アースの接続</p> <ul style="list-style-type: none"> スプレーガン、被塗物及び塗料や溶剤を入れる容器は、アースの接続を確実に行ってください。 アースが不十分ですと、静電気のスパークによる爆発や火災の危険性があります。 洗浄時など、塗料や溶剤を排出する場合塗料及び溶剤を受ける容器は必ず金属製を使用し容器には必ずアースを接続してください。 		
<p>使用禁止の液体</p> <ul style="list-style-type: none"> 食品や医療などの液体塗布等には使用しないでください。 この製品は塗装用です。部品から異物混入による健康障害の危険があります。 トリクロロエタン、トリクロロエチレンなど、ハロゲン炭化水素系の液体は使用しないでください。 製品と化学反応し、クラックを生じる恐れがあります。 		

■ 2. 現品確認

- ・ご注文の製品に間違いがないことを確認してください。また、輸送中に変形や破損した箇所がないか確認してください。
- ・欠品、輸送上の破損がある場合は、危険防止のため使用せず、お買い求めになった販売店又は、当社支店営業所・サービス会社までご連絡ください。

【形式銘板】



製品形式

製造年月記号

チェック!

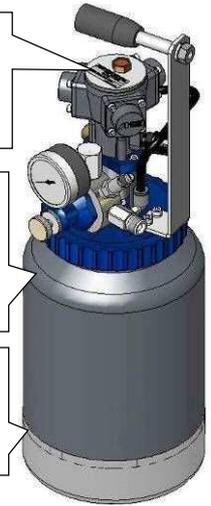
形式銘板
表示内容確認

チェック!

容器セットに
変形や破損、傷
等がないか確認

チェック!

ハカマに弛みが
ないか確認



【付属品一覧】：下記の付属品が全て揃っていることを確認してください。

品名	個数
握り(平座金・ばね座金・六角ナットを含む)	1式
六角棒スパナ(平径 2.5mm)	1
六角棒スパナ(平径 3mm)	1
取扱説明書	1(本書)
住所録	1

■ 3. 仕様

形式	容量 (L)	最高加圧 圧力 (MPa)	使用環境 温度範囲 (°C)	使用可能塗料 粘度範囲 (P)[秒/NK-2]	エアース接続口		塗料ホース 接続口	全幅×全高 (mm)	質量 (g)
					IN側	OUT側			
PC-18DM	2.0	0.34	5~40	3{100}	G1/4	G1/4	G1/4	142×390	1920

■ 4. 準備

重要

- ・容器の加圧圧力を下げる場合は、必ず減圧弁の調整ねじを緩めて(左に回す)から抜気弁を開いてください。逆止弁の作用により、容器内の圧力が圧力計の指針より高くなる場合があります。
- ・減圧弁の設定値は0.34MPaを超えないようにしてください。
安全弁は0.3MPaから0.34MPaでエアをリークさせるよう設定されています。
- ・塗料の充填は8割程度(約1.6L)までにしてください。充填量が多すぎると、塗料が溢れ出すことがあります。

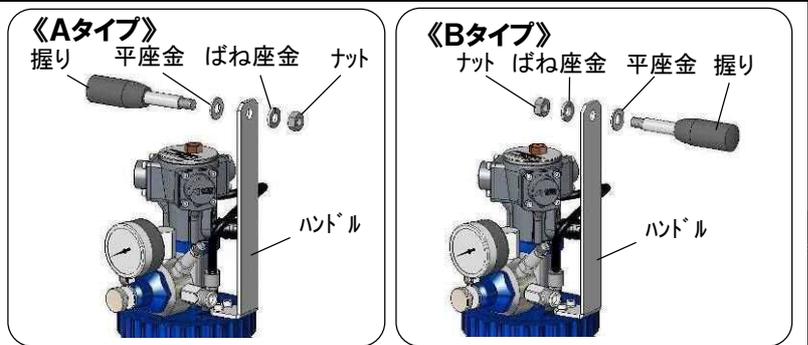
ワンポイント 【推奨エアース(別売り)について】

EAHU-6:アース線入りウレタンホース・・・20・30・50・100mを用意しています。ホースジョイントと合わせてお求めください。

- ① 加圧コンテナのハンドルに『握り』を取り付けます。取付け方向はご使用に応じ、右図を参照してA、Bどちらかのタイプをお選びください。
※ 取付けの際は平座金とばね座金の位置にご注意ください。
※ 握りはしっかりと取付けてください。

ワンポイント 【握りの取付け方向について】

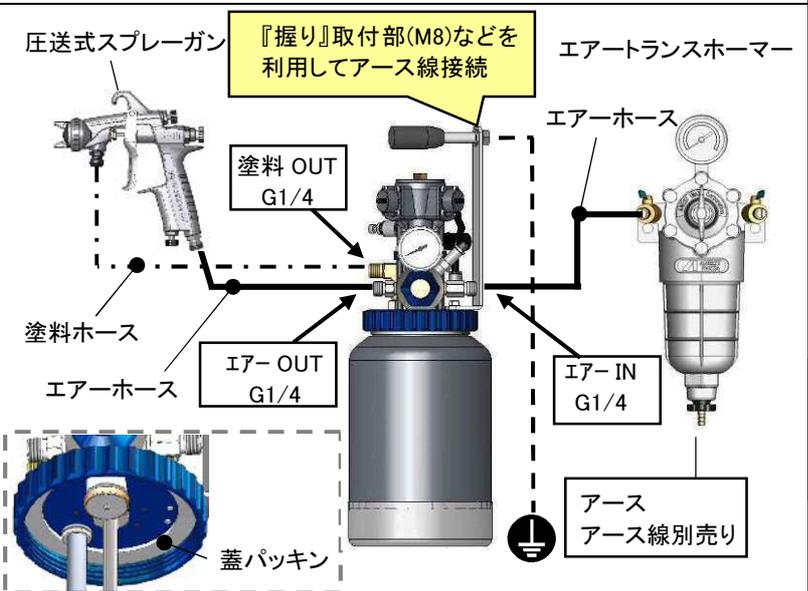
- A:持ち運びが容易で、設置スペースをとりません。
B:蓋の開閉時に握りを握むと力が入り易くなり、蓋の開け閉めが容易になります。



- ② 右図を参照し、加圧コンテナ、スプレーガンにエアース及び塗料ホースを接続します。また、『握り』の取付部ねじなどを利用してエアースを接続します。
※ 握りねじサイズ: M8
※ 接続口ジョイントサイズ
・エアース(IN): G1/4
・エアース(OUT): G1/4
・塗料(OUT): G1/4

- ③ 容器セットを外し、塗料を充填します。
※ 塗料の充填は8割程度(約1.6L)までとしてください。

- ④ 蓋内部に蓋パッキンがセットされていることを確認し、容器をしっかりとねじ込みます。



■ 5. 使用方法

⚠ 警告

- ・エアーマーターのスピードコントローラを『閉』(右にまわす)にしてからエアを供給してください。不意にエアーマーターが回転し回転部分に身体が接触すると怪我をする可能性があります。

重要

- ・加圧コンテナは水平な場所に設置してご使用ください。また、接続したホース類に足を掛けないように注意してください。
- ・配管する管内やエアホース内は一度清浄な空気を流し、ゴミ、水分等を除去した後、接続してください。配管内が汚れていると、加圧コンテナ内にゴミ・錆などが入り、塗装不良の原因になります。
- ・容器内の塗料が少なくなってくると、エアーマーターの回転が速くなるため塗料の残量にご注意ください。
- ・必要以上にエアーマーターの回転速度を高しないでください。
高速回転で攪拌すると塗料中への空気の巻き込みによる塗膜欠陥を招いたり、エアーマーターの異常磨耗により寿命を短くしたりする原因になります。
- ・エアーマーターを長時間空運転しないでください。故障の原因となります。
- ・ご購入後、初めてお使いになる場合は、容器内と攪拌軸、攪拌羽根をシンナーなどで洗浄してください。洗浄せずに使用しますと、防錆剤により塗装不良が発生する可能性があります。

- ① スピードコントローラが開いていることを確認してからトランスホーマーから加圧コンテナにエアを供給し、減圧弁で任意の圧力に設定します。

※減圧弁の操作だけでは逆止弁の作用により容器内の圧力は下がりにません。加圧圧力を下げる場合は減圧弁で減圧した後、抜気弁を開いて一度内部圧力を抜いてから再度圧力調整を行ってください。

- ② スピードコントローラをゆっくりと開き、エアーマーターを回転させます。

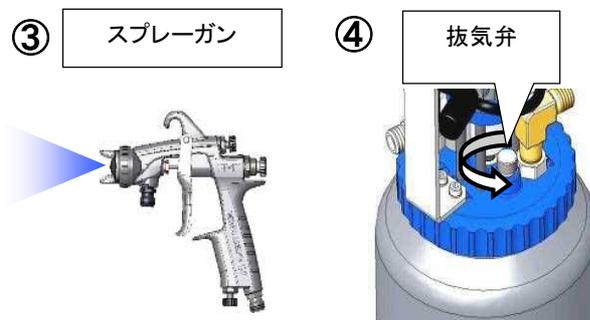
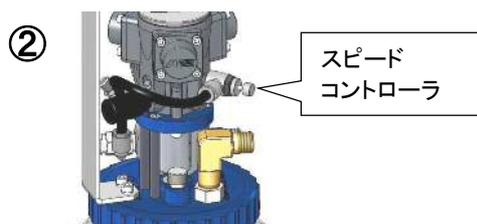
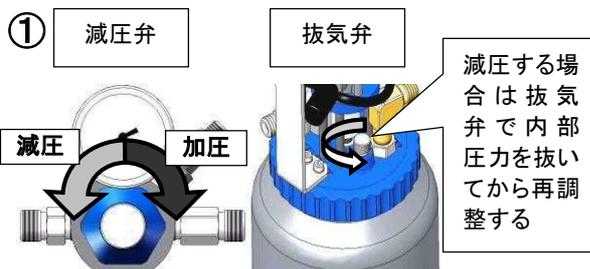
※ 必要以上にエアーマーターの回転速度を高しないでください。
※ エアーマーターの作動中は攪拌軸、軸継手および攪拌羽根などの回転する部分に手を触れないでください。

- ③ 接続するスプレーガンの取扱説明書を熟読してから吹付け作業を開始してください。



- ④ 作業を中断する際や、塗料を補充する際は、必ずスプレーガン及び加圧コンテナへのエア供給を遮断してから抜気弁を開き、加圧コンテナ内部の圧力を抜いてください。

※減圧弁の操作だけでは逆止弁の作用により容器内の圧力は下がりにません。必ず抜気弁を開いて内部圧力を抜いてください。



■ 6. 点検

6-1 エアーマーターの点検

重要

エアーマーターは、正しく分解、組立がされない場合十分な性能が発揮できませんので『③全体のオーバーホール』については、お買い求めになった販売店又は、当社支店営業所・サービス会社にご依頼ください。

No	時期	点検、整備内容
①	作業終了毎	攪拌軸の緩み、破損点検、洗浄 各部ボルト類の緩み点検
②	500時間毎	7-1を参照し、ピストン表面、シリンダ内面、ミニYパッキン表面にグリスを補給してください。 ・【推奨グリス】出光興産製 ダフニーポリレックス NO.2
③	5000時間毎	全体のオーバーホール 消耗部品の点検、交換を行ってください。

6-2 コンテナ部の点検

警告

破裂注意

- ・保守・点検をする際は必ず供給エアーを遮断してから抜気弁を開いて圧力を逃がしてください。減圧弁の操作だけでは逆止弁の作用により容器内の圧力は抜けません。必ず抜気弁を開いて内部圧力を抜いてください。
- ・加圧されたまま容器を外すと、容器内の液体や部品が飛散し、非常に危険です。
- ・点検で異常が見られた場合は絶対に使用を継続せず、適切な処置を実施してください。



● 作業前の点検

安全弁の作動確認

減圧弁の圧力を徐々に上げ、0.3MPaから0.34MPaの間で安全弁が作動する(エアーが洩れる)ことを確認してください。安全弁が正常に作動しないと、容器内に最高使用圧力以上の圧力がかかり、製品が破損することがあります。安全弁に異常があるときはお買い求めになった販売店又は、当社支店営業所・サービス会社に連絡してください。

蓋パッキン確認

蓋パッキンに変形・破損及び著しい汚れがないかチェックしてください。変形・破損がある場合は交換が必要です。

ネジ山の磨耗確認

- ① 蓋を全閉まで締め込みます。
- ② 蓋を上へ軽く引きながら少しずつ緩めていき、蓋が外れるまでの回転数を測定します。

蓋が外れるまで1回転以上の場合

継続してご使用いただけますが、以降も定期的に確認してください。

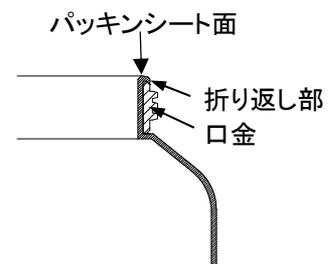
1回転未満で蓋が外れる場合

ねじの『やせ』によりかみ合わせが不足しています。ご使用を中止して新しい蓋と容器、又は製品に交換してください。**加圧中に蓋が外れて飛ぶ危険性があります。**



容器セットの消耗具合の確認

容器セット上面部の磨耗具合を確認してください。折り返し部分が磨耗していると、加圧時に口金が外れる危険があります。容器のご使用を中止して新しい容器又は製品に交換してください。**加圧中に蓋が外れて飛ぶ危険性があります。**パッキンシート面にキズや凹みがある場合は、蓋パッキンを交換してもエアー洩れが止まらなくなります。パッキンを交換してもエアー洩れが止まらない場合は、ご使用を中止して新しい容器又は製品に交換してください。



ハカマの緩み確認

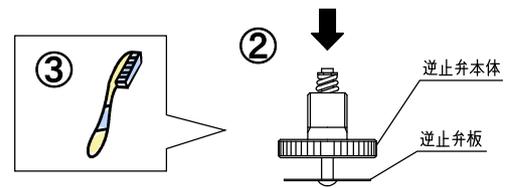
容器下部のハカマが緩んでいないか確認してください。ハカマ部分を押えて蓋をきつく締める、もしくは緩める際にハカマが回ってしまうような場合は容器のご使用を中止して、新しい容器又は製品に交換してください。**緩みがあると容器の底が破損して、加圧中に破裂する危険性があります。**



● 1週間毎の点検

・次の手順に従い、逆止弁セットの洗浄をしてください。

- ① 逆止弁セットを蓋から取外します。
- ② 逆止弁セット上部の心棒を指で押し、逆止弁板を開きます。
- ③ 逆止弁本体と逆止弁板の接触部の塗料汚れを洗浄液を浸した刷毛などで洗浄後、エアブローしてください。



● 6ヶ月毎の点検

- ・オーバーホールを実施し、消耗部品の交換をしてください。消耗部品は『9. 構成部品』を参照してください。
- ・容器セットに変形や破損がないかチェックしてください。変形や破損がある場合は絶対に使用せず、直ちに交換してください。
- ・日常の使用時に液洩れや空気洩れ音がないかチェックしてください。液洩れや空気洩れがある場合は上記全ての項目を点検し、異常がなければ蓋をしっかりと締め直してください。

■ 7. エアモーターの分解と組立て

- ・ 下記の手順に従って、分解を行ってください。また、組立は、原則として分解の逆の手順で行ってください。
- ・ 組立ての際、図中『※』の部品は表面全体にグリスを満遍なく塗布してください。
- ・ 【推奨グリス】出光興産製 ダフニーポリレックス NO.2

重要

- ・ エアモーターは、正しく分解、組立がされない場合十分な性能が発揮できませんので、分解と組立はお買い求めになった販売店又は、当社支店営業所・サービス会社にご依頼ください。
- ・ 製品の改造は、絶対にしないでください。
- ・ 部品を交換する場合は、必ず当社純正部品を使用してください。十分な性能が発揮できないばかりか、故障の原因となります。
- ・ 分解・組立ては部品に傷をつけぬよう、ウエスなどの上で行なってください。

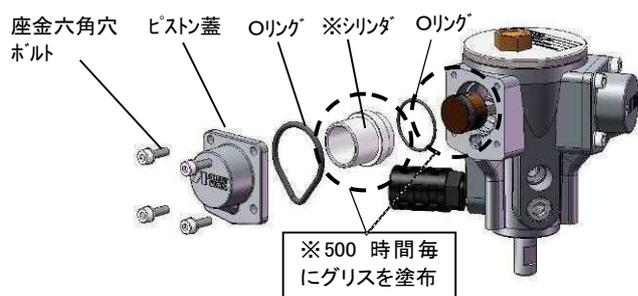
7-1 シリンダの取り外し

- ① 付属の六角棒スパナ(半径 2.5mm)で座金六角穴ボルトを外します。
- ② ピストン蓋とリングを外します。
- ③ シリンダとリングを取り外します。

➤ご使用の500時間毎にシリンダ内面、ピストン表面、ミニYパッキン表面にグリスを補給してください。

重要

分解・組立ての際、シリンダの内面や内部のピストン、ミニYパッキンに傷をつけぬよう注意してください。故障の原因になります。

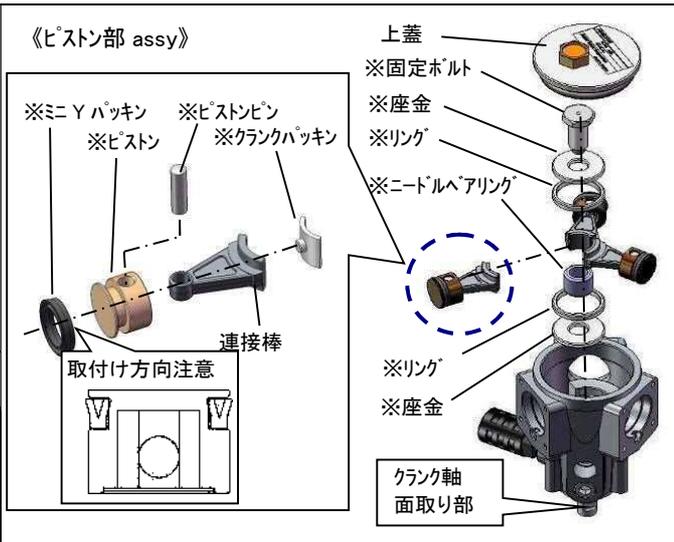


7-2 ピストン、ミニYパッキンの取り外し

- ① 上蓋を取り外します。組立ての際は上蓋のねじ部に低強度接着剤を塗布してください。
 - ② クランク軸の面取り部(右図参照)にスパナ(6mm)を掛け、固定ボルトを緩めます。
 - ③ 座金、リングの順に取り外し、ピストン部assyとニードルベアリングを取り外します。最後にリング、座金を取り外します。
- ③で取り外したピストン部assyを分解します。
- ④ はじめにクランクパッキンを取り外します。
 - ⑤ ピストンピンを抜き取り、ピストンを取り外します。
 - ⑥ ピストンからミニYパッキンを取り外します。

重要

- ・ ミニYパッキンの取り外しの際は鋭利な工具を使用しないでください。パッキンの破損、損傷による故障の原因になります。
- ・ ミニYパッキンの取付け方向に注意してください(右図参照)。取付け方向を間違えますと故障の原因になります。

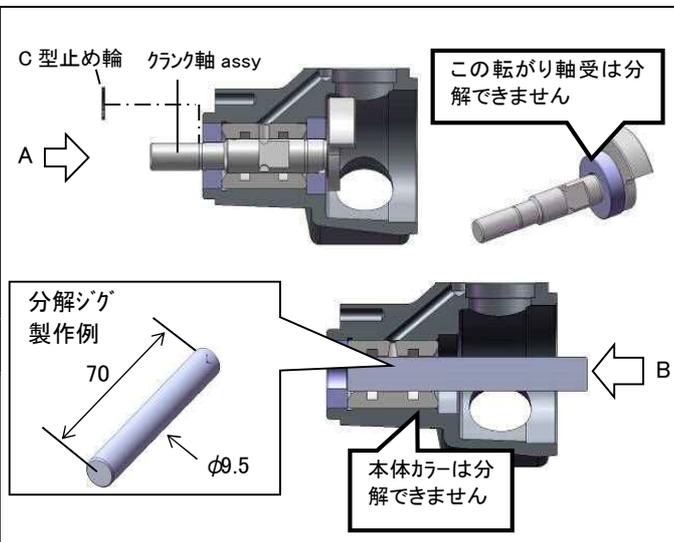


7-3 クランク軸、転がり軸受の分解

- ① C型止め輪を外し、『A』の方向からプラスチックハンマーなどでクランク軸をたたいてクランク軸を抜き取ります。
- クランク軸assyに取り付けられた転がり軸受は分解できません。交換が必要な場合はクランク軸assy交換となります。
- ② 右図を参照し分解ジグを作成してください。
 - ③ 図の『B』の方向からジグを差込み、プラスチックハンマーなどでたたいて転がり軸受を取り外します。
- 本体assy内部の本体カラー(圧入された部品)は分解できません。交換が必要な場合は本体assy交換となります。

重要

- ・ 分解の際、クランク軸assy表面、本体カラー内面に傷を付けぬ様注意してください。故障の原因になります。
- ・ 転がり軸受を外した場合は、組立時に必ず新品に交換してください。分解時に規定外のストレスが掛かるため継続使用はできません。



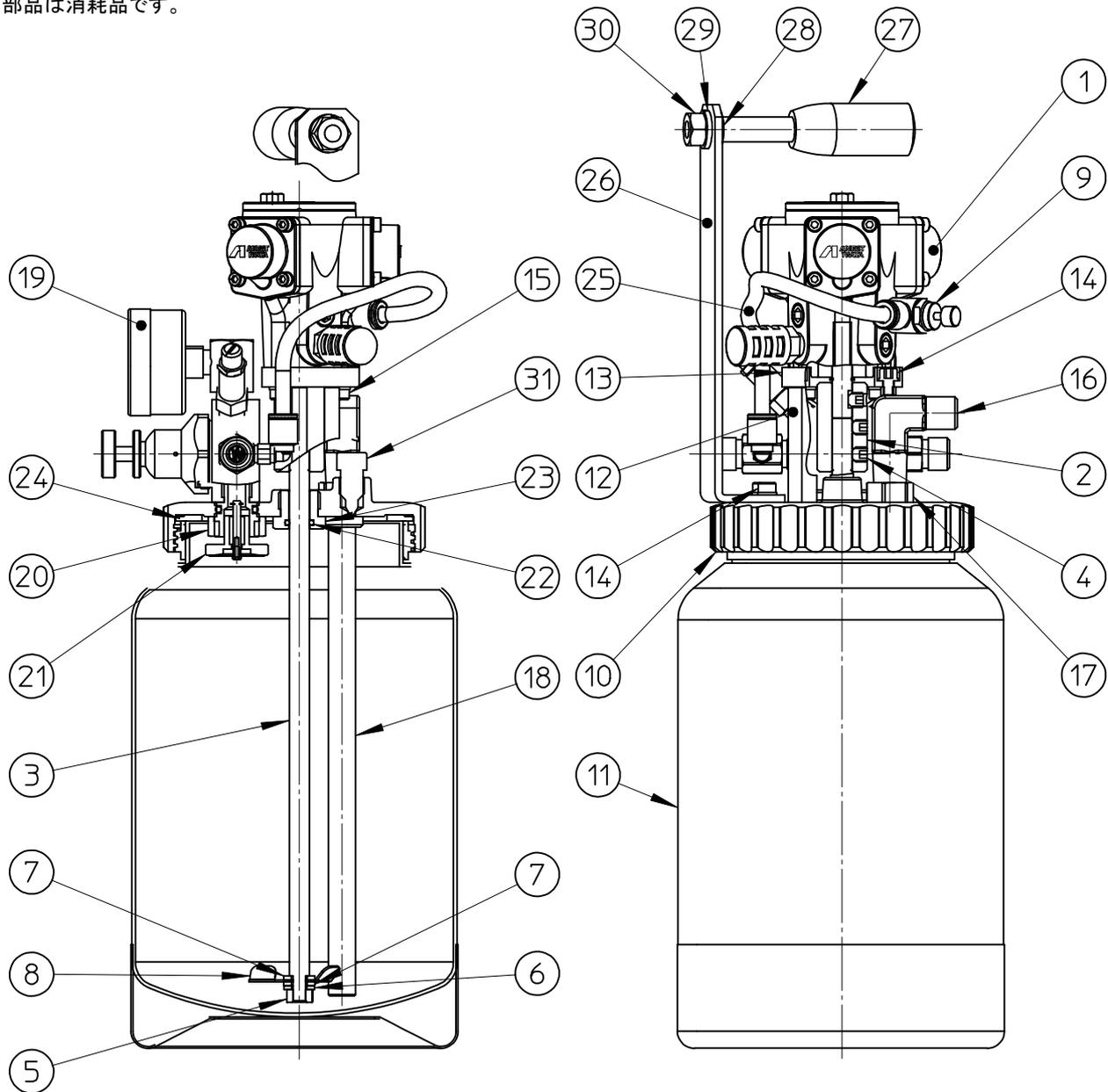
■ 8. 故障と対策

現象	原因	対策
塗料がでない	1) 塗料の詰まり 2) 加圧されていない 加圧圧力が低い 3) 塗料の粘度が高すぎる 4) <u>21 逆止弁</u> の塗料固着	1) <u>16 エルボ</u> 、 <u>18 吸上げパイプ</u> または接続した塗料ホースなどの塗料経路を洗浄してください 2) 減圧弁圧力を上げてください。またはトランスホーマーなど、エア供給元を確認してください 3) 『3.仕様』使用可能塗料粘度範囲を確認してください 4) 『6-2コンテナ部の点検』を参照し、 <u>21 逆止弁</u> を洗浄してください
塗料に気泡が入り込む	1) エアーマーターの回転速度が速い 2) <u>16 エルボ</u> 、 <u>17 ジョイント</u> 、 <u>18 吸上げパイプ</u> の緩みによるエア巻き込み	1) <u>9 スピードコントローラ</u> で適切な回転速度に調節してください 2) <u>16 エルボ</u> 、 <u>17 ジョイント</u> 、 <u>18 吸上げパイプ</u> を確認し、緩みがある箇所を締め増ししてください
エアが洩れる	1) <u>31 抜気弁</u> が開いている 2) <u>19-1 安全弁</u> が作動している 3) <u>24 蓋パッキン</u> が損傷している 4) <u>11 容器セット</u> のパッキンシート面にキズや凹みがある 5) <u>22 Oリング</u> の損傷・磨耗 6) 接続部品の緩み 7) 減圧弁構成部品の損傷 ・ <u>19-11 減圧弁シート</u> のシート部損傷 ・ <u>19-13 ダイアフラムセット</u> の破損	1) <u>31 抜気弁</u> を閉めてください 2) 安全弁は0.3MPaから0.34MPaでエアをリークさせるよう設定されています。減圧弁設定圧力を0.34MPa以下でご使用ください 3) <u>24 蓋パッキン</u> を交換してください 4) 『6-2コンテナ部の点検●長期間(5年以上)お使用の際の安全確認』を参照しパッキンシート面を確認してください 5) <u>22 Oリング</u> を交換してください 6) <u>17 ジョイント</u> 、 <u>21 逆止弁セット</u> 、 <u>23 パッキンホルダー</u> などの洩れている箇所を締め増ししてください 7) 対象の部品を交換してください
上蓋のエアーマフラー部からエアが洩れる	本体内部圧力排気のため、 <u>1-22 エアーマフラー</u> からのわずかなエア洩れは正常です。長時間のご使用でエア洩れが増大し、攪拌作業に支障が生じた場合はエアーマーターのオーバーホールを実施してください。	
塗料が洩れる	1) <u>11 容器セット</u> の損傷 2) 接続部品の緩み 3) 容器内の塗料が多すぎる 4) <u>21 逆止弁</u> が故障している 5) <u>24 蓋パッキン</u> が損傷している	1) <u>11 容器セット</u> を交換してください 2) <u>16 エルボ</u> 、 <u>17 ジョイント</u> 、 <u>18 吸上げパイプ</u> または接続した塗料ホースなどの洩れている箇所を締め増ししてください 3) 容器内の塗料を8割程度に減らしてください 4) 『6-2コンテナ部の点検』を参照し、 <u>21 逆止弁</u> を洗浄してください。必要あれば部品交換してください 5) <u>24 蓋パッキン</u> を交換してください
エアーマーターが回転しない または回転が遅い	1) <u>9 スピードコントローラ</u> の開度が不十分 2) 作動エア圧力が低い 3) <u>1-7 マフラー</u> の目詰まり 4) 攪拌軸の緩み 5) 塗料の粘度が高すぎる 6) 錆の発生 7) 消耗品の磨耗 8) <u>8 攪拌羽根</u> と <u>18 吸上管</u> が接触している	1) <u>9 スピードコントローラ</u> のツマミを開いてください 2) トランスホーマーなど、エア供給元を確認してください 3) <u>1-7 マフラー</u> を交換してください 4) 六角穴付止めねじの締め増しをしてください 5) 塗料粘度が高すぎる場合はエアーマーターが過負荷となり回転が停止又は低速回転となります。『3.仕様』使用可能塗料粘度範囲を確認ください。 6) 長時間休止した場合、エアに含まれる水分により錆が発生することがあります。グリス補給や、オーバーホールを実施してください 7) 『■7. エアーマーターの分解と組立て』を参照し、消耗部品を交換してください 8) <u>3 攪拌軸</u> 、 <u>18 吸上管</u> の緩み有無など、取付け状態を確認してください。部品が曲がっている場合は交換してください

■ 9. 構成部品

ご注文の際は製品形式をご指定の上、部品 NO、名称をご連絡ください。

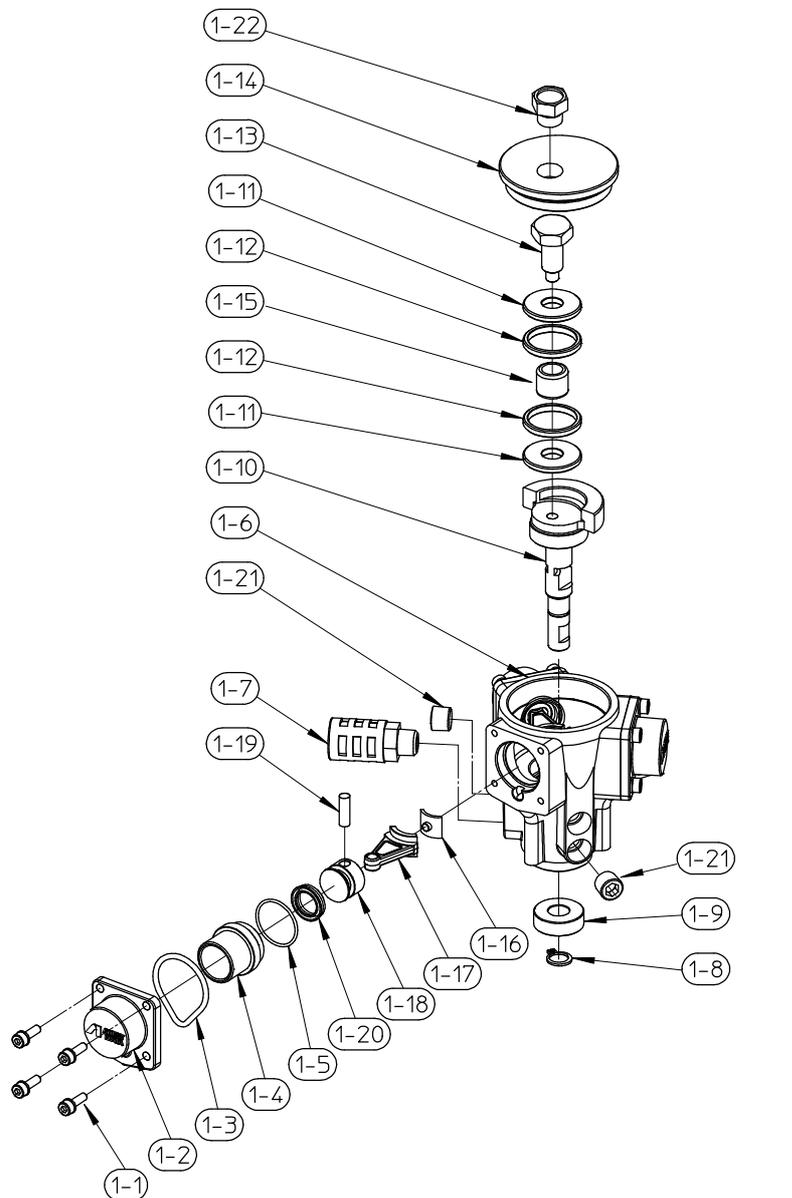
☆印の部品は消耗品です。



消耗品	No	品名	個数	消耗品	No	品名	個数
	1	エアーマーター (AM-7B 形)	1		17	ジョイント	1
	2	軸継手	1		18	吸上管	1
	3	攪拌軸	1		19	減圧弁セット	1
	4	六角穴付き止めねじ	3		20	六角ナット	1
	5	六角ナット	1		21	逆止弁セット	1
	6	ばね座金	1	☆	22	Oリング	1
	7	平座金	2		23	パッキンホルダー	1
☆	8	攪拌羽根	1	☆	24	蓋パッキン	1
☆	9	スピードコントローラ	1		25	ウレタンチューブ	1
	10	蓋	1		26	ハンドル	1
	11	容器セット	1		27	握り	1
	12	支柱	3		28	平座金	1
	13	ベース	1		29	ばね座金	1
	14	座金六角穴ボルト	5		30	六角ナット	1
	15	六角穴付きボルト	3		31	抜気弁	1
	16	エルボ	1				

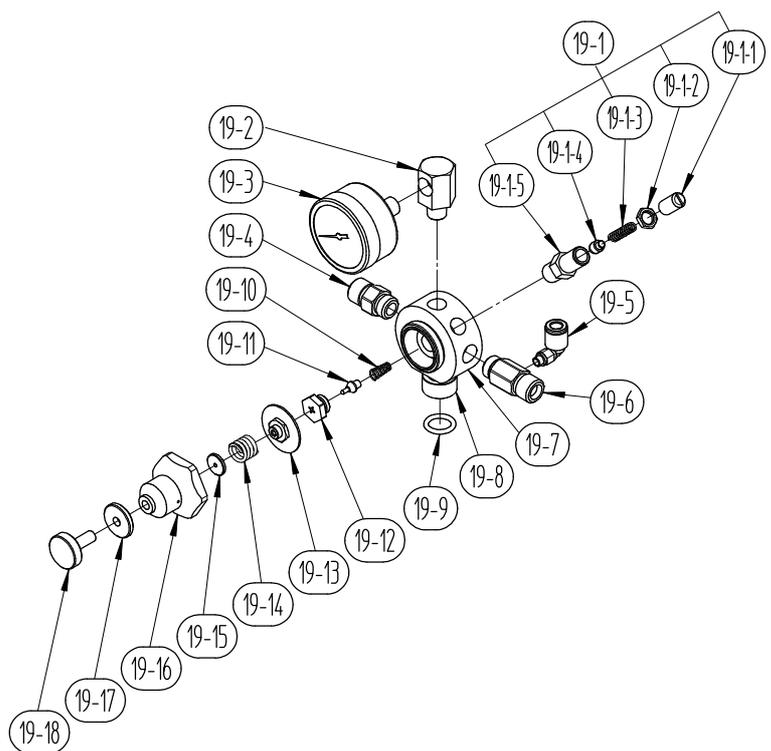
9-1 ①エアーマター(AM-7B形)構成部品

消耗品	No	品名	個数
	1-1	座金六角穴ボルト	12
	1-2	ピストン蓋	3
☆	1-3	Oリング	3
☆	1-4	シリンダ	3
☆	1-5	Oリング	3
	1-6	本体 assy	1
☆	1-7	エアーマフラー	1
☆	1-8	C型止め輪	1
☆	1-9	転がり軸受	1
	1-10	クランク軸 assy	1
	1-11	座金	2
	1-12	リング	2
	1-13	固定ボルト	1
	1-14	上蓋	1
☆	1-15	ニードルベアリング	1
☆	1-16	クランクパッキンセット (1パッキン3ヶセット)	1
	1-17	連結棒	3
☆	1-18	ピストン	3
	1-19	ピストンピン	3
☆	1-20	パッキンセット (ミニYパッキン1パッキン3ヶセット)	1
	1-21	六角穴付プラグ	2
☆	1-22	エアーマフラー	1



9-2 ⑱減圧弁セット構成部品

消耗品	No	品名	数量
	19-1	安全弁	1
	19-1-1	プラグ	1
	19-1-2	六角ナット	1
	19-1-3	安全弁バネ	1
☆	19-1-4	安全弁シート	1
	19-1-5	安全弁本体	1
	19-2	圧力計ジョイント	1
	19-3	圧力計	1
	19-4	減圧弁ジョイント	1
	19-5	エルボユニオン	1
	19-6	エアジョイント	1
	19-7	減圧弁本体セット	1
	19-8	ジョイント	1
☆	19-9	Oリング	1
	19-10	シート押しばね	1
☆	19-11	減圧弁シート	1
	19-12	ガイド	1
☆	19-13	ダイヤフラムセット	1
	19-14	ダイヤフラム押えばね	1
	19-15	ばね受け	1
	19-16	キャップ	1
	19-17	ジャミナット	1
	19-18	ツマミ	1



■ 10. 保証と修理サービス

10-1 保証について

保証書(保証規定)

お買上げの商品を本取扱説明書にしたがって、正常のご使用状態で万一故障が起きました時は、本保証書の記載内容により無償修理いたします。

形式	PC-18DM	品名	加圧コンテナ
お客様	御社名		
	お名前		
	ご住所 〒□□□-□□□□		
	TEL() -	FAX() -	
保証期間	お買上げ日 年 月 日 から 「1年間」を保証期間とします。		
販売店	販売店名		
	住所 〒□□□-□□□□		
	TEL() -	FAX() -	

◇ 無償保証を受けるための条件および手続き

- (1) 本保証書をご提示の上、お買上げの販売店、または当社支店・営業所・サービス会社にご依頼ください。
- (2) 本保証書は日本国内においてのみ有効です。

This warranty is valid only in Japan

※本製品の故障または不具合に伴う生産補償、営業補償など二次損失に対する補償はいたしませんので、ご了承ください。

◇ 次の場合は保証期間内でもお客様のご負担(有償)になります。

- (1) 本保証書のご提示がない場合。
- (2) 本保証書にお名前、お買上げ日、販売店名の記載がない場合あるいは字句等を書換えられている場合。
- (3) 取扱上の不注意・取扱説明書の記載事項を守られなかったことによる故障および損傷。
- (4) 消耗品の交換・修理。
- (5) 指定外の動力源(電圧、周波数、燃料他)、又は天災、地変(火災、地震、水害、塩害、落雷、公害など)による故障および損傷。
- (6) 純正部品以外の部品が使用されている場合。
- (7) 当社指定の修理店以外による修理がなされている場合。

◇ 法的責任

本保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて、無償修理をお約束できるものです。

従って、本保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理等、またご不明の点はお買上げの販売店または当社支店・営業所までお問い合わせください。

◇ 保証書の保管

●「保証書」は、内容をよくお読みになったうえで、「お客様のお名前・ご住所」、「お買上げ日」、「販売店」など、必要事項については、誠に恐縮ですがお客様でご記入して頂き、納品書とともに大切に保管して下さるようお願いいたします。

●本保証書は紛失されても再発行致しませんので、大切に保管してください。

10-2 修理とサービスについて

修理を依頼されるときには

- 修理にはお買上げの販売店または当社支店・営業所・サービス会社にご相談ください。
この時お買上げの商品の形式名、およびお買上げの時期をお知らせください。
- 保証期間経過後の修理は、修理により機能が維持できる場合、お客様のご要望により有料にて修理いたします。
- 詳しくはお買上げの販売店にご相談ください。

また、その他ご不明な点はお近くの当社支店・営業所、サービス会社へお気軽にお問い合わせください。

製品に関するお問い合わせ、ご意見・ご希望などございましたら、当社お客様相談室までご連絡ください。

お問い合わせ先

➤ 電話でのお問い合わせ

・スプレーガン、静電塗装機、塗料供給装置、液圧機器、塗装ブース、自動塗装装置、塗装プラント、塗装ロボット、環境装置に関するお問い合わせ

 **0800-100-1926**

・その他、上記以外に関するお問い合わせ

 **0120-917-144**

受付時間：9:00~12:00/13:00~17:00 但し、土日・祝日・弊社指定休日を除く。

➤ メールでのお問い合わせ <http://www.anest-iwata.co.jp>

各種お問い合わせ先は変更する場合がございますので、最新のお問い合わせ先につきましては

当社ホームページをご覧ください。 アネスト岩田ホームページ <http://www.anest-iwata.co.jp>

 **アネスト岩田株式会社**

〒223-8501 横浜市港北区新吉田町

取説 No.T413-03
コード No. 04004242